

# 令和6年度 第1回長岡市地域公共交通協議会

## 参考資料

### 議決事項

第2号 地域公共交通計画認定申請書 … 1

### 協議事項

第1号 地域内生活交通の利用状況 … 2・3

第2号 店舗を活用したバス待合スペースの検討 … 4・5

### その他

令和5年度 新型コロナワクチン接種高齢者移動  
支援事業の実績 … 6

「くるりん」キャッシュレス決済実証実験の実績 … 7

# 議決事項 第2号 地域公共交通計画認定申請書

## □ 地域公共交通計画と乗合バス等の補助制度の連動化について

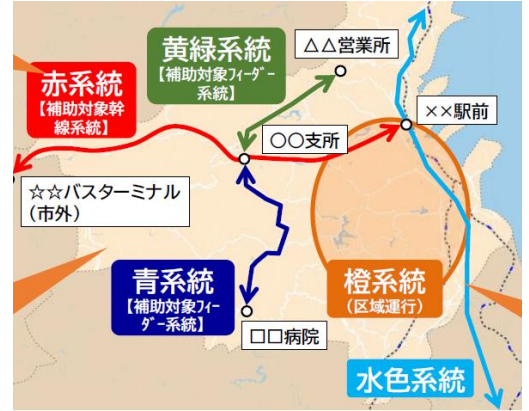
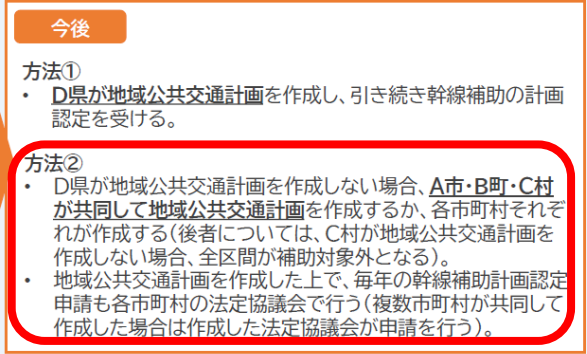
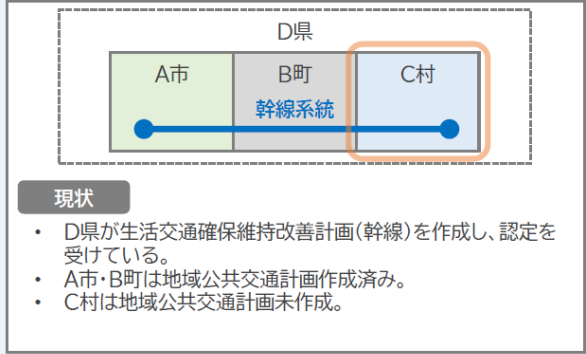
□ 従来の手続き  
□ 移行後の手続き

	現行		法定計画(地域公共交通計画)の有無	経過措置期間 (～令和6年事業年度)		経過措置期間終了後 (令和7年事業年度～)	
	補助計画	交付先		補助計画	交付先	補助計画	交付先
幹線	生活交通確保維持改善計画(幹線) ※主に県単位	乗合事業者 又は 都道府県・市町村法定協議会	都道府県法定計画あり	都道府県法定計画 又は 生活交通確保維持改善計画(幹線)	都道府県法定協議会 又は 乗合事業者	都道府県法定計画	都道府県法定協議会 又は 乗合事業者
			都道府県法定計画なし 市町村法定計画あり	市町村法定計画 又は 生活交通確保維持改善計画(幹線)	市町村法定協議会 又は 乗合事業者	市町村法定計画	市町村法定協議会 又は 乗合事業者
			都道府県・市町村法定計画なし	生活交通確保維持改善計画(幹線)	乗合事業者	補助対象外	
フィーダー	生活交通確保維持改善計画(フィーダー) ※主に市町村単位	乗合事業者、 自家用有償旅客運送者 又は 市町村法定協議会	都道府県法定計画なし 市町村法定計画あり	市町村法定計画 又は 生活交通確保維持改善計画(フィーダー)	市町村法定協議会 又は 乗合事業者等	市町村法定計画	市町村法定協議会
			都道府県・市町村法定計画なし	生活交通確保維持改善計画(フィーダー)	乗合事業者等	補助対象外	

R7年事業年度(今回計画提出)から移行

R4年事業年度から交付先を協議会へ移行済

### 幹線



# 協議事項 第1号 地域内生活交通の利用状況

## (1) 小国地域における便別利用状況(大貝線)

○令和5年度は一部便で小国歯科診療所まで延伸して運行し、該当する午前便で両方向とも利用者が減少した一方で、該当する午後便は利用者が増加しており、外出時間をずらしたことが考えられる。  
○そのほかの便については概ね横ばいである。

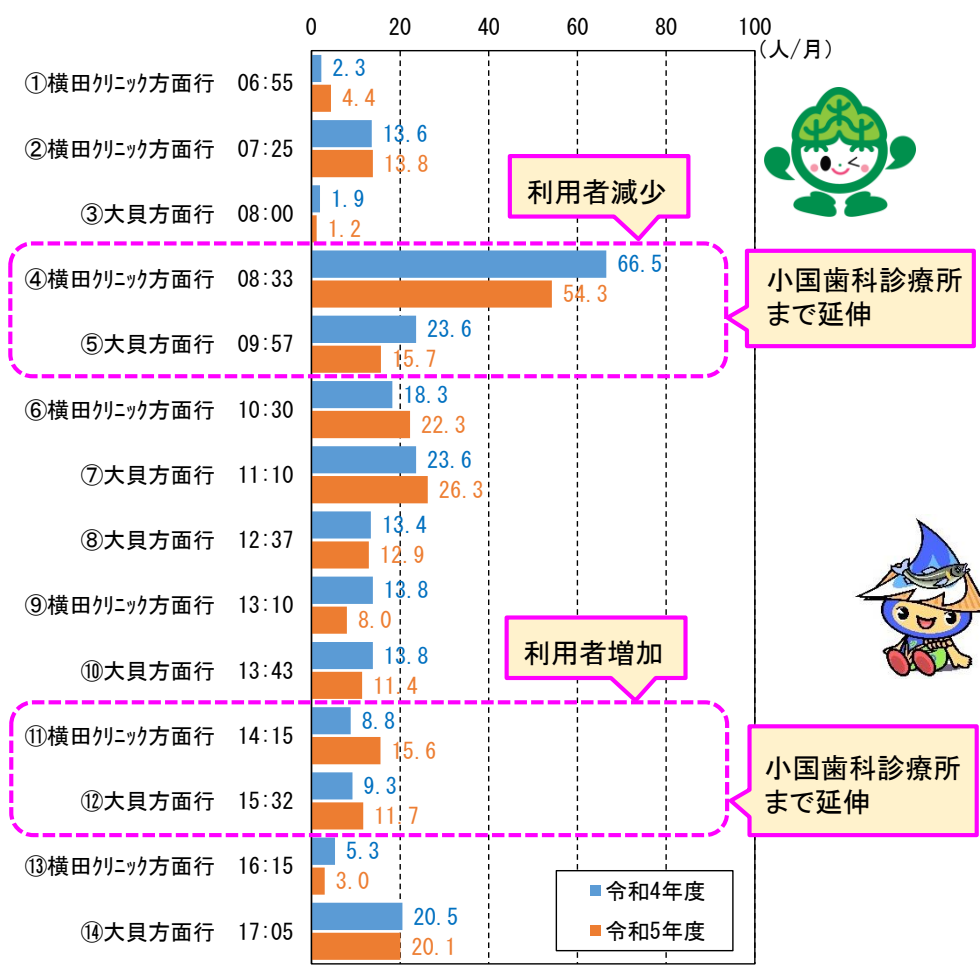


図 便別の利用状況 (大貝線)

## (2) 川口地域における便別利用状況

○西川口・田麦山線において、11時台、12時台の便で利用者の増加が見られるものの、そのほかの便は減少している。  
○木沢・和南津線において、8:35発の利用者が半減しているが、特定利用者の減少が考えられる。  
○上川線については全便で利用者が減少している。

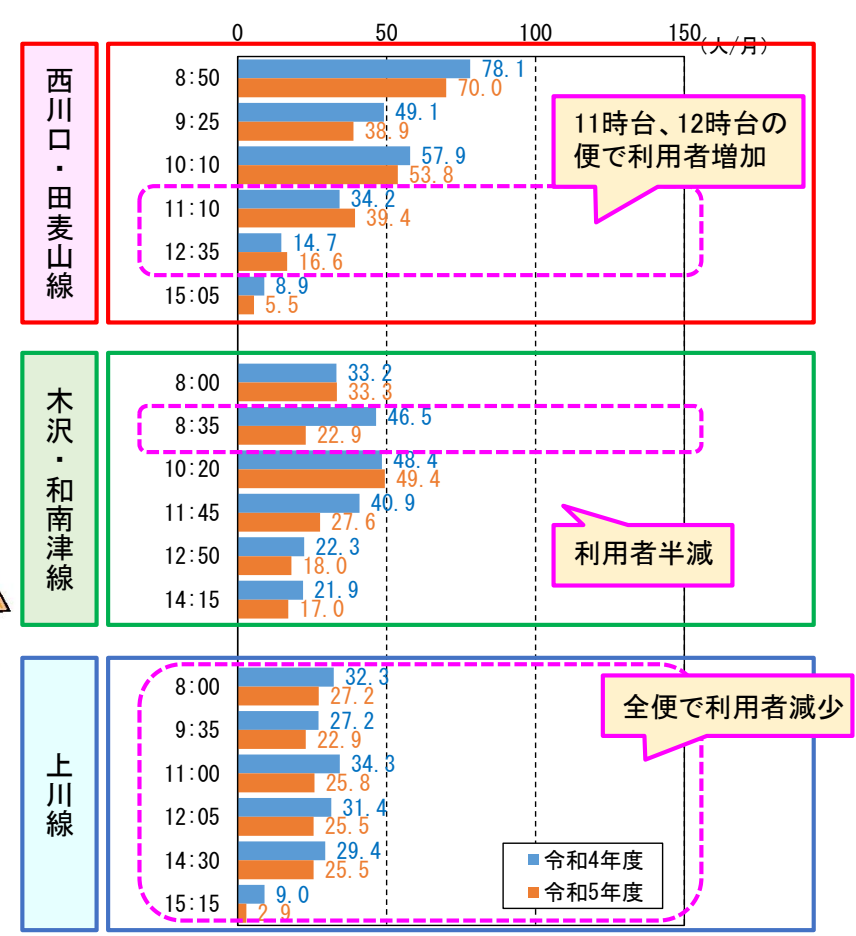


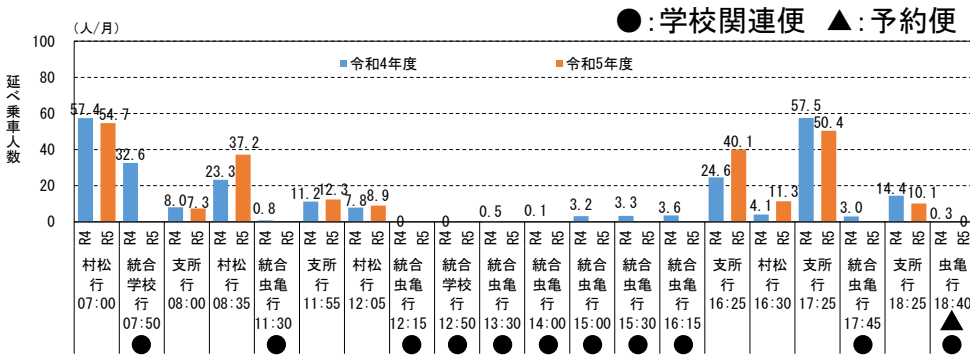
図 路線別・便別の利用状況

# 協議事項 第1号 地域内生活交通の利用状況

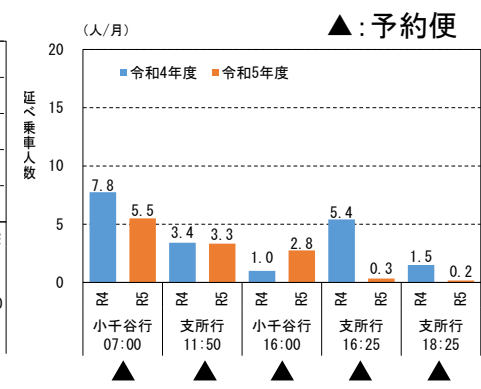
## (3) 山古志地域における便別利用状況

○令和5年度は一部便を予約制に変更し、一部の予約便は利用者がわずかであるため、運行経費の削減につながっていると考えられる。  
 ○また、学校関連便について、村松線と小松倉線を統合したが、小・中学生の合計人数に大きな変化がなかったため、利用者数に大きな変化はなかった。尚、小学校から中学校に進学した生徒がいることから、帰宅時間帯の変化により利用者数が増減している便がみられる。  
 ○種芋原線と小松倉線では診療所便を新設し、一定の利用者がみられる。

### ◆村松線



### ◆小千谷線



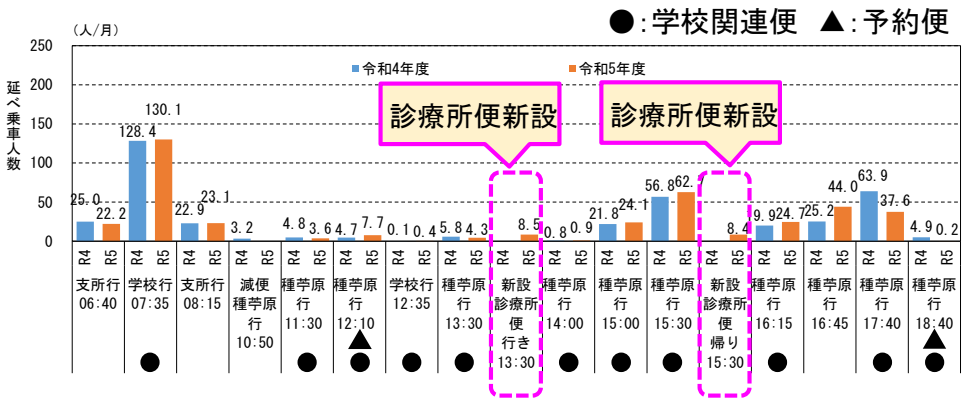
### 【参考 児童・生徒数】

単位: 人

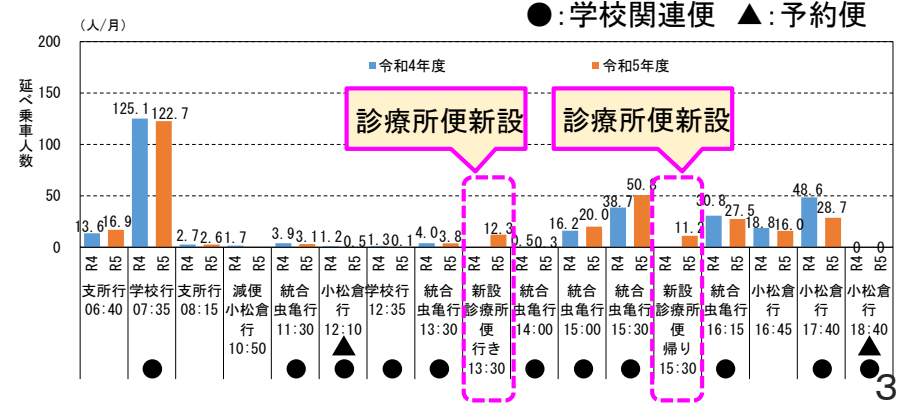
	夏				冬			
	小学生		中学生		小学生		中学生	
	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5
村松線	1	0	1	1				
小松倉線	4	5	3	2	5	5	6	6
種芋原線	8	5	2	5	8	5	4	7
合計	13	10	5	7	14	10	11	13

※R5は村松線と小松倉線沿線人数を合計

### ◆種芋原線



### ◆小松倉線



## □ 長岡市地域公共交通計画

(令和6年6月現在)

### 施策8 バス待ち環境の改善

#### ■背景

○バスの利用促進を図るため、誰もが安心して利用できるバス待ち環境の向上が必要です。

#### ■施策の内容

##### 【事業8-1】バス停上屋の整備

○バスの利便性向上を図るため、新たな整備計画に基づきながら、バス停の上屋整備を引き続き進めていきます。また、交通結節点としての利用が考えられるバス停についても整備を検討します。

○地域団体等が整備するバス停上屋について、事業者と連携して整備を支援します。



写真 長岡造形大学前バス停 (BOX型)

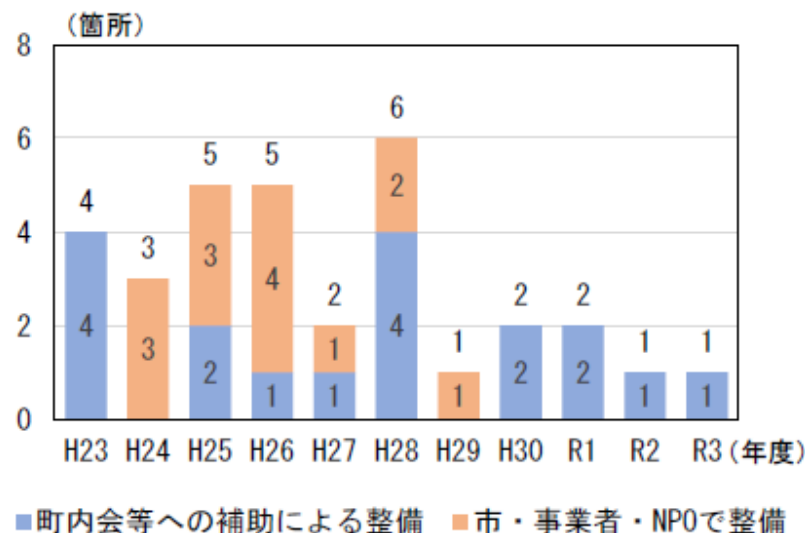


写真 喜多町バス停 (片屋根型)

表 優先的に整備を検討するバス停

	連携NO	整備予定箇所	想定する利用者
長岡地域 川東	1	長岡商業高校前	長岡商業高校
	4	片貝入口	長岡工業高等専門学校
長岡地域 川西	16	三ツ郷屋	長岡アークプラザ南、 長岡西病院
	17	本社営業所	本社営業所
	19	喜多町	長岡向陵高校
栃尾地域	20	栃尾高校前	栃尾高校
越路地域	29	来迎寺駅前	来迎寺駅、JRとの乗継

長岡市所管のバス停上屋	94か所
町内会等への補助	44か所



資料：長岡市

図 バス停上屋の整備

- ・上屋整備にかかる費用負担
- ・設置スペースの問題

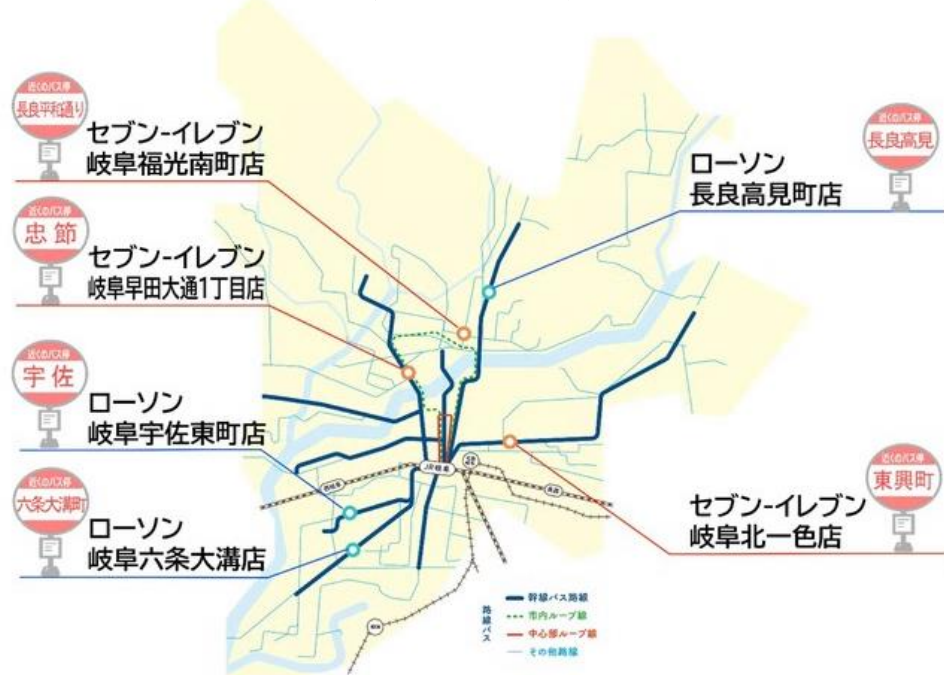


整備が容易ではない

## □ 岐阜県岐阜市の事例紹介(バスまちば)

令和4年12月14日～サービス開始(市内6店舗でスタート)

※R5. 12～ 6店舗追加し、全12店舗に拡大



店舗内にラック等を設置



店舗外にのぼり設置

### ■ バスマちば事業について

バス停付近の民間施設(コンビニ等)をバスの待合スペースとして活用



中部地方  
初



出入口にステッカー貼付

写真  
岐阜市提供

## <目的・概要>

新型コロナウイルスワクチン接種を受ける65歳以上の方を対象に、ワクチン接種会場と自宅間の移動にタクシーを利用した場合、乗車料金の割引を行うもの。

## <事業内容(案)>

- ・500円タクシー割引券×2枚を、ワクチン接種券を郵送する際、同封する。
- ・乗車料金が1,000円未満の場合1枚、1,000円以上の場合2枚まで使用可能。
- ・無償で譲渡可能。

## <割引対象交通機関(予定)>

- ・タクシー(16社)
  - ※長岡市ハイヤー・タクシー共通「タクシーご利用券」取扱事業者
- ・福祉タクシー(8者)
  - ※(うち1者は9月事業廃止にて、以降7者)

## タクシー割引券(令和5年度)



65歳以上(昭和34年4月1日以前生まれ)の方を対象に、ワクチン接種券ほか書類に同封して発送

## <割引期間>

令和5年5月8日～令和6年3月31日

※春接種(5月～)、秋接種(9月～)の2回

## <予算額>

9,640千円(長岡市から補助金交付)

## □ 令和5年度 新型コロナワクチン接種用タクシー割引券利用実績

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
枚数(枚)	1,975	3,426	686	260	681	1,731	1,869	1,210	162	133	47	12,180
金額(円)	987,500	1,713,000	343,000	130,000	340,500	865,500	934,500	605,000	81,000	66,500	23,500	6,090,000

春接種開始

秋接種開始

# その他 「くるりん」キャッシュレス決済実証実験の実績

## キャッシュレス決済の導入

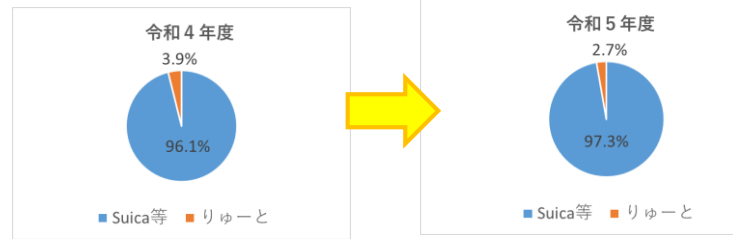
- 実証実験として中央環状線「くるりん」に**キャッシュレス決済**を導入（R3.3.20～）
- 新潟交通のキャッシュレス決済システム「**りゅーと**」を活用
- Suicaをはじめとした全国相互利用が可能な交通系ICカード（10カード）や新潟交通のりゅーとが利用できる



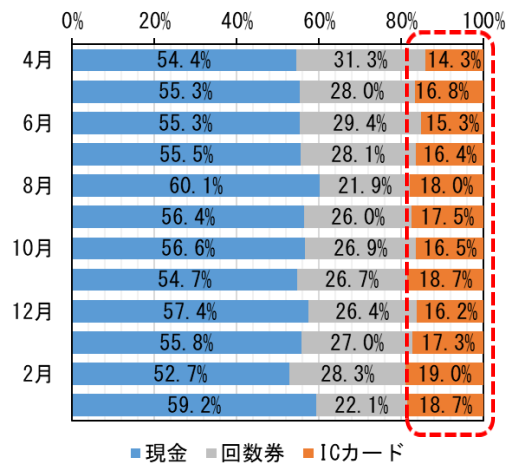
図 くるりん路線図 出典) 長岡市

## ICカード別利用割合

- キャッシュレス決済が伸びない要因（令和4年6月24日協議会にて）
- ・ICカードを購入できる場所が駅構内（Suica）に限定され、車内や越後交通の窓口で購入できない。
  - ・「りゅーと」以外は車内でチャージできない。（「りゅーと」は長岡市内では購入できない。）
  - ・利用できる路線が「くるりん」のみである。
  - ・利用者へのメリットが少ない。（ポイントサービスや割引サービスがないなど）



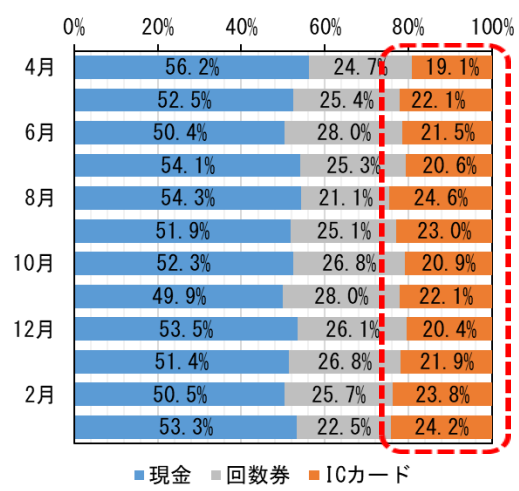
## キャッシュレス決済の利用実績（令和4.4～R5.3）



IC精算率  
17.1%

## キャッシュレス決済の利用実績（令和5.4～R6.3）

- 令和4年度と比較し、ICカード精算率が**5%程度**増加している。
- 現金、回数券からICカードへの移行する利用者が増えたと思われる。
- 現金は令和4年度56.2%から令和5年度52.6%に減少、
- 回数券は令和4年度26.7%から令和5年度25.4%に減少した。



5%UP

IC精算率  
22.1%

図 決済方法別利用実績 出典) 越後交通提供資料